



《パルミラ遺跡を行く 夜》2006年 平山郁夫シルクロード美術館蔵

いよいよ、美術博物館で「平山郁夫 悠久の絹の道」が11月5日(土)から始まります。この企画展の開催にあたって、ご尽力をいただいた平山郁夫実行委員会と同企画展の開催の趣旨に賛同し、協賛をいただいた大勢の皆さんに、感謝申し上げます。

この企画展は、平山郁夫の画業をたどるとともに、「文化財赤十字構想」を提唱し、文化財の保護に情熱を傾けた平山の活動を紹介します。

平山郁夫 悠久の絹の道

シルクロード

絵画のみならず、平山所有のシルクロードの出土品など70点を超す作品・資料を一堂に展示します。

本企画展は、3つの会場で展示をする規模の大きなものになっています。

第1会場では、平山がシルクロードに取材した絵画作品や、長年平山夫妻が収集したシルクロードコレクションを展示。第2会場では、瀬戸内に生まれた平山の美しいふるさとを描いた作品や、原爆を体験した平山が平和への祈りを込めた作品などを紹介します。さらに第3会場では、当館で平成16年に開催した「平山郁夫展」で展示した奈良薬師寺玄奘三蔵院の大唐西域壁画の天下図をおよそ12年ぶりに展示します。

また、より多くの皆さんに平山作品を理解していただくため、会場ごとの解説が載った鑑賞用のパンフレット(A4版)を差し上げます。数に限りがありますのでご注意ください。



夫妻で収集したシルクロードコレクション。平山はこれらの資料から感性を磨き、異国文化に思いをはせたという。今回の展示でもコレクションの一部を紹介する。

この他にも美術博物館では、鑑賞の機会を増やすため、期間中は休館日無しで、また開館時間も午後7時まで延長しますので、ぜひお出掛けください。

会期 11月5日(土)～12月11日(日) (会期中無休)

開館時間 午前9時～午後7時 (入館は午後6時30分まで)

観覧料 ▽一般500円

▽高齢者300円

▽大学・高校生300円

▽中学生以下無料

関連事業

■ギャラリートーク1

日時 11月13日(日)、午後2時から

内容 展示作品や資料について

講師 幸野昌賢さん(平山郁夫美術館学芸員)

■ギャラリートーク2

日時 11月24日(木)、①午前11時から②午後2時から

内容 大唐西域壁画の天下図について

講師 大谷徹英さん(薬師寺執事)

■開催記念講演会&対談

日時 11月19日(土)、午後1時30分から

内容 ①基調講演「絹が紡いだ世界文化遺産」

②対談「シルクロードを描いた平山郁夫、そして富岡製糸場のこれから」

講師 前田耕作さん(アファグニスタン文化研究所所長)

聞き手 白鳥正夫さん(平山郁夫美術館企画展コーディネーター)

◎共通事項

申し込み 不要。直接会場へお越しください。

参加費 無料(ただしギャラリートークは観覧料が必要)

会場・問い合わせ 美術館(黒川351番地1、☎626200)

図書館でも書籍を展示

図書館では、平山郁夫の画集や書籍を展示しています。どうぞ図書館までお出掛けください。

会期 12月11日(日)まで
問い合わせ 図書館(☎621737)

市民の文芸

※作品を募集しています。応募する部門名・氏名・住所・電話番号を明記し、はがき・封書・Eメール・ファクスで、秘書課市民の文芸係へ。毎月1日締め切り(必着)。

俳句 高橋 洋一 選

敬老日夫婦の長寿箸貫ふ (下黒岩 吉田シズ江)
秋澄むや虚空鏡に妙義山 (上黒岩 本多八千代)
敬老日日々の起居を誉れとし (曾木 佐藤まろや)
初鴨や雨粒叩く満水湖 (富岡 黒澤 克美)
真つ直ぐの敵高々と大根時く (下黒岩 野口ちる子)
去ぬ燕常より高く農衣干す (曾木 平井 和子)
時告ぐや鉄路を染める曼珠沙華 (南蛇井 茂木 敦子)
図書館へ道連れひとつ秋あかね (中高瀬 佐藤 強)
栗鼠と猿少しは残せ俺の栗 (上小林 岩井 進)

短歌 杉山 郁子 選

腕時計も指輪も外し病む姑の手足さすりしを秋雨に思ふ (南蛇井 横田 久子)
尋ねれば聞くより狭き跡地なり人の気も無し白河の関 (下高尾 小林 勝明)
肩組んでキャンプに踊りし彼の友よ敬老の日をいずこに在す (七日市 恩略 森造)
十五夜に尾花ジンジャー供ふれば部屋いつぱいに甘き香にほふ (七日市) 新井 逸子
澄み渡る青空恋ひし太陽の輝くを待ち大空仰ぐ (白岩 金井 幸子)
村おこし狼煙代わりの花火上げ老若集い秋の祭りに (下高尾 金田 照治)
ご先祖を迎えて心のおもてなし我が身癒され穏やかなる日々 (七日市) 小坂橋光雄
台風もオリンピックも終りし日青空に浮く綿雲仰ぐ (七日市) 飯塚有紀子
秋彼岸夫待つ墓を思いつつ雨空見上げ供花をそろえり (七日市) 大滝 松代
雨上がり山うねうねと雲流れむく鳥の群れ青空に舞う (七日市) 関 明子

漢詩 齋藤 清次 選

初秋吟 初秋吟 (中高瀬) 小松 順子
郊墟爽氣報秋初 郊墟の爽気 秋を報ずるの初め
一葉飄來風意徐 一葉 飄り来たって風意徐ろなり
恰好幽庭月明淡 恰も好し 幽庭 月明淡きは
孤蛩唧唧語階除 孤蛩 唧唧 階除に語る

秋夜偶題 秋夜偶題 (富岡) 水谷 糸乃
蟲語啾啾秋興吟 虫語 啾々 秋興吟ず
蕭條院落夜沈沈 蕭条たる院落 夜沈々
幽齋閑坐青燈下 幽齋 閑かに坐す青灯の下
切切懷人彈玉琴 切々 人を懷うて玉琴を弾す

川柳 登 極 選

子育ての論議娘と長電話 (一ノ宮) 田島 悦子
敬老会学童達に励まされ (下高尾) 金田 照治
鮭遡上聞いて故郷へ帰りたい (富岡) 大河原富美
幼子と曳いた屋台の懐かしさ (富岡) 金井 君代
笛の音のリズム軽やか秋祭り (富岡) 湯浅サチ子
泣いた数忘れて孫の笑顔見る (岡本) 黒沢 邦江
傘立てに居座り続く忘れ物 (岡本) 轟 陽子
気がつけば母にきてきてどっこいしょ (上小林) 岩井 進
老夫婦アレコレソレで仲が良い (野上) 小金沢基久恵
待合室結果聞くまで目がまわる (野上) 小金沢基久恵

ご協力をお願いします 富岡総合病院 面会禁止

富岡総合病院では、12月1日からインフルエンザ・ノロウイルスなどの流行時期がすぎるとして、入院患者に対する面会を全面禁止とします。入院時にインフルエンザ・ノロウイルスなどに感染すると、重大な症状を招く危険性があります。

院内感染予防のため、ご理解・ご協力をお願いします。
問い合わせ 富岡総合病院感染制御室 ICT (☎63-2111)

